

ImPACT佐橋プログラム公開成果報告会（2018年6月29日）、東京国際フォーラム

◆これまでに、3回にわたり国際シンポジウム(公開)を開催し、スピントロニクスメモリ応用展開について最新の状況を発信共有して参りました。毎回、プログラマネージャーやプロジェクトリーダーの講演およびポスターセッションにて、ImPACT佐橋プログラムの研究開発の取り組みについて紹介すると共に、国内外の関連研究開発機関からも最先端の開発状況を報告して頂き、スピントロニクスメモリ応用展開についてオープンな議論を繰り広げて参りました。

◆今回の公開成果報告会では、最終年度を迎えたImPACT佐橋プログラムの研究開発成果について報告・紹介させて頂きました。大野社会実装分科会と湯浅先端技術開発分科会の両分科会長からの報告に加えて、特別講演およびトピックス講演を両分科会に所属する研究開発責任者から報告頂いたと共に、関連する国内外の研究者からも最新の成果について報告して頂いた招待基調講演を通じた意見交換を行い、佐橋プログラムが目標とする新たな省電力エレクトロニクスデバイスの社会実装に向けての道筋を確認すると共にImPACTを通しての学術的進展について広く一般の意見を求めるため公開成果報告会を開催致しました。

成果報告会演題	講演者	内容
【ImPACT佐橋プログラム】革新的スピントロニクスシーズン/バージョンの創出と社会変革への挑戦 【成果報告】	佐橋 政司	プログラマネージャー/東北大学 教授
【大野社会実装分科会】スピントロニクス集積回路プロジェクト 【成果報告】	遠藤 哲郎	東北大学 教授/分科会長・プロジェクトリーダー
【湯浅先端技術開発分科会】電圧駆動MRAM開発タスクフォースプロジェクト 【成果報告】	湯浅 新治	産業技術総合研究所 研究センター長/分科会長・プロジェクトリーダー
【スピントロニクス素子:基礎研究から集積回路まで】 【特別講演】	大野 英男	東北大学 総長
【究極のエコIT機器を実現する電圧による磁化制御の原理解明】 【特別講演】	鈴木 義茂/ 鈴木 基寛	大阪大学 教授/ 高輝度光科学研究センター チームリーダー
【High Density 3D Cross-Point STT-MRAM】 【招待基調講演】	Yiming Huai	Avalanche Technology
【スピントロニクスにおけるスピン変換現象】 【招待基調講演】	大谷 義近	東京大学 教授
【超低消費エネルギーVoCSM とVoCSMセルのロジックアプリケーション: VoCSL(Voltage-Control Spintronics Logic)】 【新型MRAM・VoCSMの回路システム開発とアプリケーションの展望】 【成果報告】	與田 博明 藤田 忍	東芝 技監 東芝 技監
【電圧駆動MRAM実現のための材料開発】 【成果報告】	三谷 誠司	物質・材料研究機構 グループ長

◆これまでの国際シンポジウム

【第1回】2015年6月21~22日

ImPACT佐橋プログラムの研究開発の取り組みについて紹介アピールするとともに、多くの国内外の研究開発者の講演を含め、新たな省電力エレクトロニクスデバイスの実用化に向けての学術的課題や方向性について議論した。

【第2回】2016年9月30日

「動き始めたMRAM市場」「新しい不揮発メモリの市場」「高速、高集積へのチャレンジ」と題した3つのトピックスについて国内外の研究者、技術者、経営担当者との意見交換を行い、出口展開の方向性と学術的有意性について議論した。

【第3回】2017年9月23~25日

「新技術進展のため様々な分野が関わるトレンド連携」「STT-MRAM製造への準備」「ImPACTにおける研究開発トピックスおよび関連する研究成果の発信」と題した3つのトピックスについて材料・デバイスからシステムまで広く国内外の研究者、技術者と三日間にわたり意見交換を行った。